

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	【留】日本語 I C(0584)		
科目基礎情報								
科目番号		0319		科目区分		一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科		産業システム工学科環境都市・建築デザインコース		対象学年		3		
開設期		後期		週時間数		2		
教科書/教材		教員が準備する。						
担当教員		馬場 亜紀子						
到達目標								
日本語の基礎を正確に行えるようにする。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1		小学校高学年～中学校の「読む、聞く、話す、書く」がよくできる。		小学校高学年～中学校の「読む、聞く、話す、書く」ができる。		小学校高学年～中学校の「読む、聞く、話す、書く」ができない。		
評価項目2								
評価項目3								
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育到達度目標 DP1 学習・教育到達度目標 DP6								
教育方法等								
概要		【開講学期】冬学期週4時間 言語の4要素「聞く、読む、話す、書く」が、日本語で正確に、中学校程度のことができるようにする。						
授業の進め方・方法		言語の4要素「聞く、読む、話す、書く」について、「ニュース、国語問題、一週間の話をする、トピック展開」を繰り返し練習する。						
注意点		教員がプリントを用意する。						
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	1 聞くことについては、1～2分程度のニュースを聞き取り、どんなニュースだったのかをまとめる。		聞き取ったニュースの内容を把握できる			
		2週	2 読むことについては、小学校5年～中学2年程度の国語の問題を解く。		小学5年から中学2年程度の国語の問題を理解できる			
		3週	3 話すことについては、経験の中から興味があることを選び、それを3分間以内で話す。		興味を持った内容について、3分間で日本語で話すことができる			
		4週	4 書くことについては、トピックセンテンスを展開することをまなぶ。		トピックセンテンスを展開することを理解できる			
		5週	5 日本語能力試験2級の過去問題をやり、総合力のアップの度合いをチェックする。		自らの日本語能力のレベルを把握できる			
		6週	1～5の以上のことを基本とする。これらの技術は別々のものではなく、ニュースの話をするときに読んだ記事のことを引用するなど相互にほかの技術が必要としているので、組み合わせによりさまざまな問題を作る。		記事内容を引用しながら、ニュースを説明できる。			
		7週	到達度試験					
		8週	答案返却とまとめ					
	4thQ	9週						
		10週						
		11週						
		12週						
		13週						
		14週						
		15週						
		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	授業		試験			合計		
総合評価割合		50		50			100	
基礎的能力		50		50			100	
専門的能力		0		0			0	
分野横断的能力		0		0			0	